



脱炭素社会の実現に向けて
マインドセットを変える

2021/11/9～3/4__全5回

京都超SDGsコンソーシアム

(本件幹事企業：三洋化成工業株式会社)

「SDGs」とは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を良くするための17の目標



◆国連において2015年に採択された世界共通の目標

- 持続可能な開発目標＝Sustainable Development Goals
- 17の目標及び169の指標からなる2030年に向けた指針

◆京都大学における「SDGs」

- 本学においては、SDGsの達成に資する研究・教育・社会貢献活動が、長年、多様な形で展開されてきた。そして、SDGsの概念や年限を超えたものも多く存在する。言葉にかえれば、本学の理念にある「地球社会の調和ある共存」に集約されるかもしれない。それらも評価され、世界の大学SDGsランキングでは、日本一位にランキングされた。
- また、最近では、多くの学生さんが、SDGsの実践活動に関わり、若い感性でユニークなアプローチを展開している。
- 他方、SDGsやそれを取り巻く状況については、賛否様々な意見も存在し、議論が尽きない。
- 議論を続けながらも、世界や地域におけるSDGsの取り組みが、真に持続可能な社会の実現につながるように、研究・教育・社会貢献活動を通じて学術的に貢献していくことが求められる。
- 本プログラムは、社会(今回は皆様)との対話を通じ、それを実現する第一歩としたい。

- ◆この通り、「SDGs」と言っても、人や組織それぞれの捉え方がある。プログラムの最後には、参加者それぞれの言葉で伝えられるようになると同時に、参加者間で語りあう関係性を構築することを目指したい。



「京大SDGs研究会」 2021年度概要

参考：昨年度の実施内容 **【後掲】**

2019年度はSDGs全体を様々な視点から俯瞰した取り組み、2020年度は里山/都市の連携による循環社会をテーマに取り組みました。今回は、具体的な脱炭素社会の実現に向けて見識を深めます。

【研究会の概要】

○会員：SDGsを深く理解し、真のSDGs目標の設定を望む法人（毎年度20法人限定）

(ex.)SDGsに対する自社独自の新たなアプローチを模索する法人

○実施日程案：2021年 11月9日(火)、12月10日(金)、1月14日(金)、2月4日(金)、3月4日(金)

※全て15:30～18:00

○会費：20万円/法人・5回

※自治体・NPO・市民の方でオンラインのみの場合5回5千円の特別枠あり。学生は無料。

○開催地／方法：オンサイトは京都大学or三洋化成orことす／原則全てオンライン参加も可

コロナ禍のコミュニケーションツールを模索されている方も、オンライン参加で実践的に検証する機会としてもご活用いただけます。

【2021年度テーマ】

脱炭素社会の実現

政府が掲げる2030年度二酸化炭素排出量46%削減(対2013年度比)を達成するためには、今や待ったなしの状況です。今回は、ものづくりの視点を中心にして、国内外の動向や、変革が必要な消費者行動まで、有識者を招いて深く皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。今後日本はどのように変革が進むのか、そのために我々はどう行動したらよいか、個人の方、法人の方問わず、様々な方が集い、一緒に知識を深めることで、自らの変革の参考にしていただきたいと思います。

【体制】

○研究会コーディネータ：浅利美鈴 京都大学地球環境学堂 准教授

○事務局：三洋化成工業株式会社 **【後掲】**

○主催：京都超SDGsコンソーシアム(産学公でSDGsの社会実装を目指す) **【後掲】**

○共催：京都大学調和ある地球社会研究ユニット、エコ～ると京大 ほか

講義 & ディスカッション & 実践活動を通じて、 貴社におけるSDGsのエキスパートを育成。

目指す人材:

- SDGsについて、ひと通りのことは理解している。
- SDGsについて、情報感度もよく有益な人脈もある。
- SDGsを使って、俯瞰的に社会を見ることが出来る。
- SDGsに関して、柔軟な発想をすることが出来る。
- SDGs視点で、貴社事業を考察することが出来る。
- SDGsに対して、疑問を持ち続けることが出来る。
- SDGsについて、あらゆる種類の相談を受けることが出来る。
- 不確実な世の中や将来を前にしても、SDGs的な視点で生産的な考え方や行動をとることが出来る。



**この人材が、「目標設定」「経営への統合」等、
貴社内SDGs議論のキーパーソンとなります。**

「京大SDGs研究会」の内容①

【各回前半】

□SDGs各テーマ深掘りプログラム(講義)

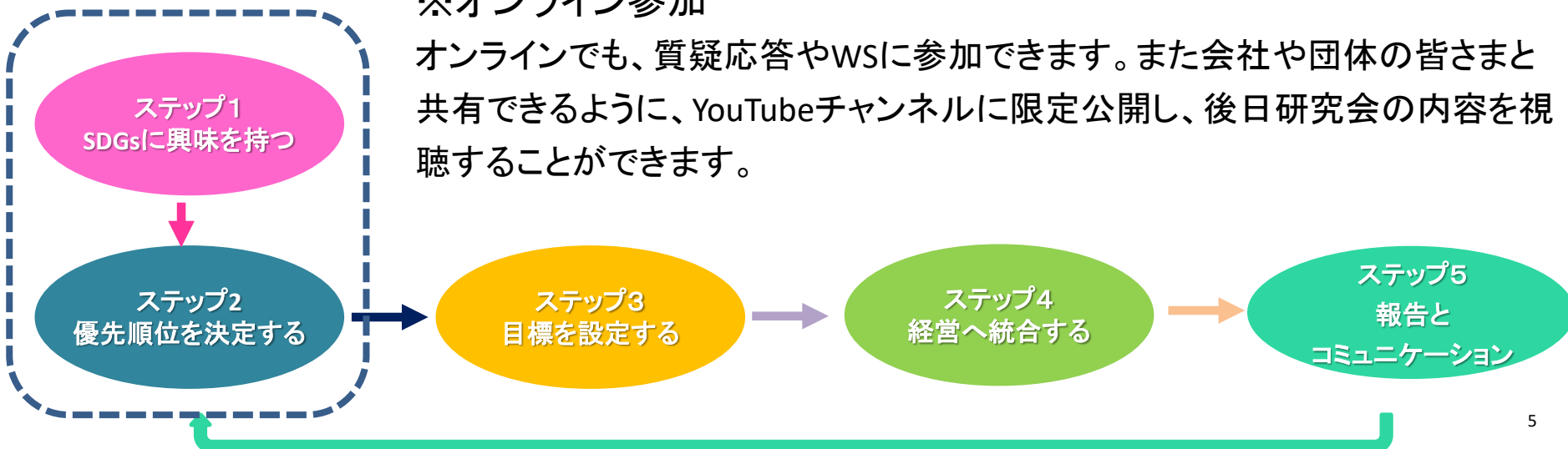
○SDGsテーマについて京都大学等の研究者の視点から、深い議論のきっかけとなる現状の分析や課題をあぶり出すようなプレゼンテーションを行い、SDGsの新たな視座を探る。

【講師例】 浅利美鈴准教授・・・地域におけるSDGs教育の展開、循環型社会構築活動 ほか
IGES小嶋公史氏・・・脱炭素社会におけるライフスタイルの在り方と算出方法 ほか
文理様々な分野の先端のお話を聞け、質疑時間も十分に取ります。

◎講義については、参加者の意向も聞きながら調整して行きます。

※オンライン参加

オンラインでも、質疑応答やWSに参加できます。また会社や団体の皆さまと共有できるように、YouTubeチャンネルに限定公開し、後日研究会の内容を視聴することができます。

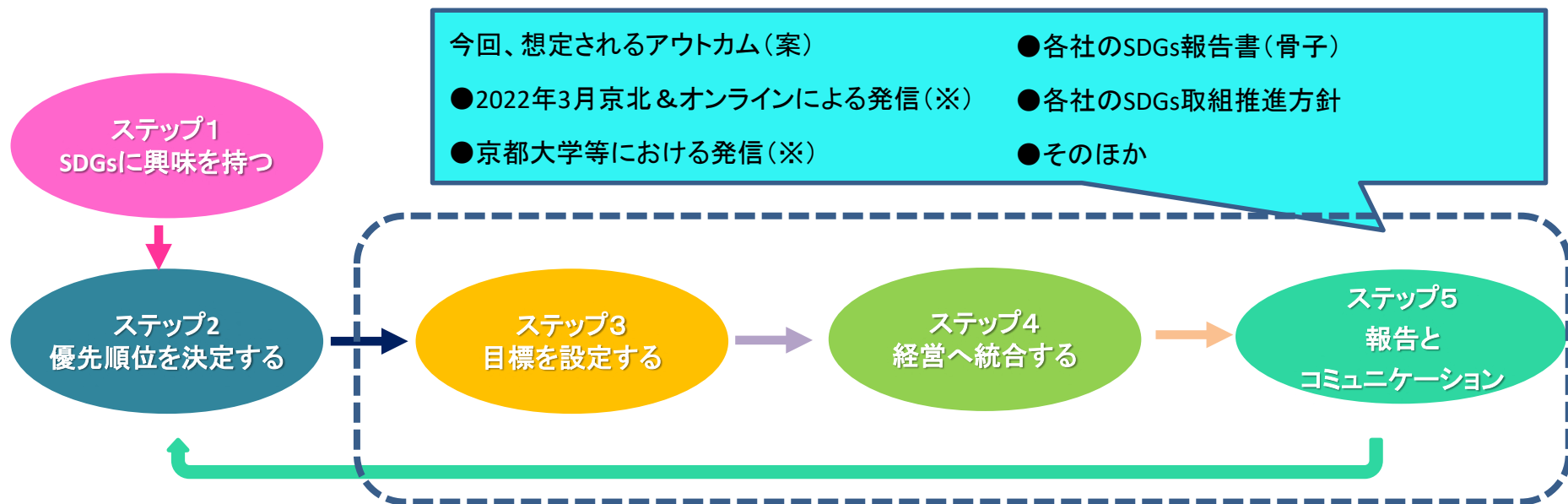


「京大SDGs研究会」の内容②

【各回後半】

□SDGs自分ごと化プログラム(ワーク&ディスカッション)

- 講義内容に関して質問をすることでSDGs的な視点を獲得していく。
- 研究者、他企業、学生とのディスカッションを通じてSDGsのツールとしての活用方法を見出していく。
(自分と他人との物事の受け止め方の違いを実感し、ダイバーシティの大切さを学ぶ。)
- エビデンスベースでの最新調査や研究結果の数値をもとに、自社での目標設定へのヒントを得られる。
- リモートワークやオンライン交流、里山滞在等の実践により、自社での展開のノウハウが獲得できる。



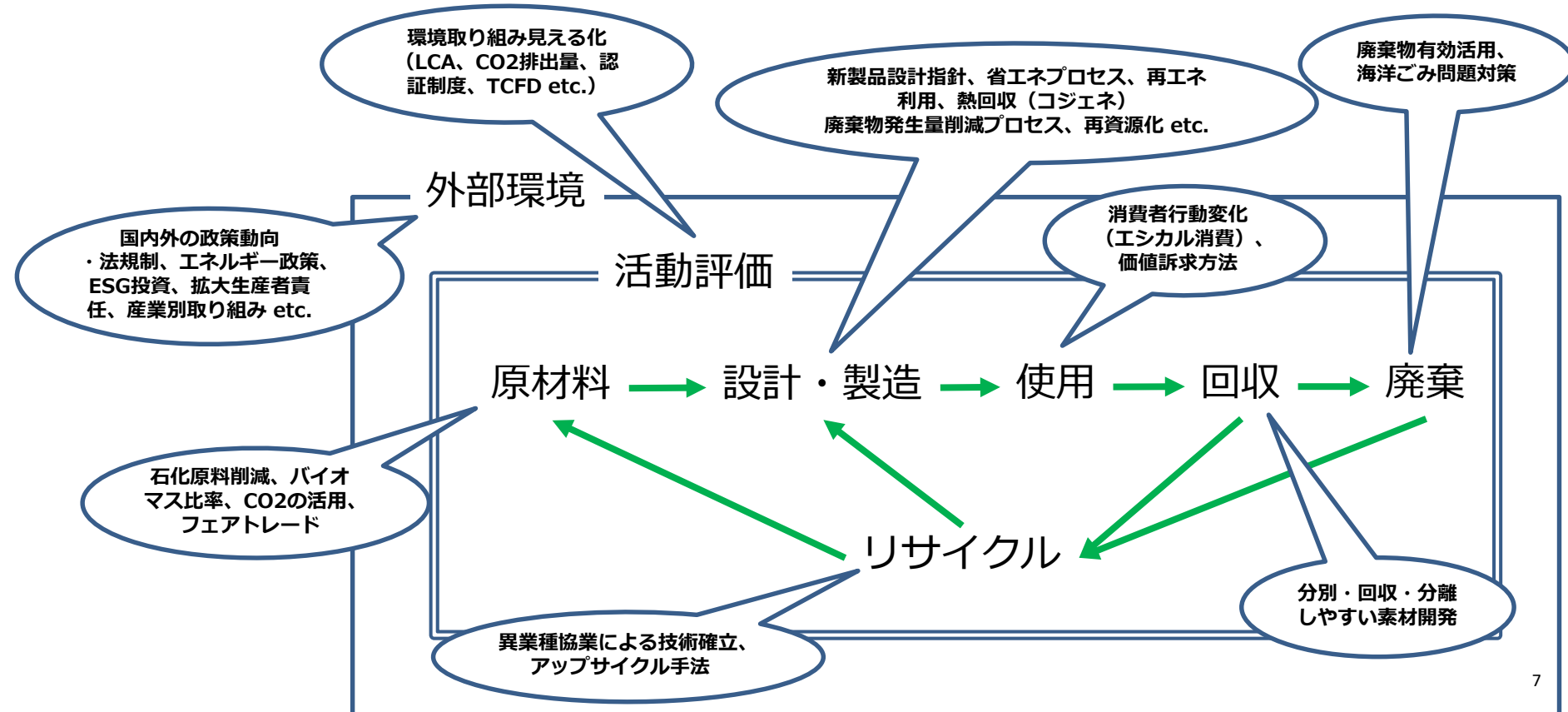
※ 2022年3月7-13日に京都里山SDGsラボ「ことす」にて、京都大学超SDGsシンポジウムを実施予定です。また、京都大学でも様々なイベントを予定しています。

「京大SDGs研究会」2021年度のプログラム

～脱炭素社会の実現に向けてマインドセットを変える～

プロジェクトの課題背景: 政府が掲げる2030年度二酸化炭素排出量46%削減(対2013年度比)を達成するためには、今や待ったなしの状況です。再生可能エネルギーの普及だけにとどまらず、使い捨て製品の見直しや食品ロス削減など我々の日々の生活の変革も伴わないと達成は難しいと言われています。今回は、ものづくりの視点を中心にして、脱炭素社会実現に向けての現状と課題、最新の取り組みについて、有識者を招いて皆さんと一緒に深く議論していきたいと考えています。

本研究会で取り上げる視点 (案)



第1回 11月9日(火) 15:30-18:00 『脱炭素ことはじめ。脱炭素ってなに？ 私たちの暮らしはどうなるの？』

場所:

オンサイト:三洋化成工業 桂研究所ホール

オンライン:リンクを共有

<趣旨説明等>

SDGS研究会テーマや本プロジェクトの目的など

-浅利美鈴先生より 5min

-三洋化成工業 山崎氏、鈴木氏より 10min

<レクチャー>

「1.5°Cライフスタイル:脱炭素社会を共創するために」

-小嶋公史氏による レクチャー&質疑応答 60min

<交流ディスカッション>

-SDGs研究会参加企業・団体による ピッチトーク

①会社紹介 ②社内におけるSDGs教育展開

③コロナ禍の対応 ④本研究会に求めること

各3~5min

-グループディスカッション

-事務局より今後の説明 5min



山崎有香

三洋化成
工業(株)
総務本部CSR
推進部長



鈴木一充

三洋化成
工業(株)
SDPグローバ
ル(株) 出向
研究部長



浅利美鈴

京都大学大
学院地球環
境学堂
准教授

2021年度のプログラムを支えるメン
バーをご参照ください。

★オンサイト参加者の方には、三洋
化成工業の桂研究所ホール内の展示
等をご案内することが可能です。

小嶋公史

公益財団法人地球環境戦略研究機関
(IGES) 関西研究センター
プログラムディレクター/上席研究員



★事務局お薦めの参考情
報:国内52都市における
脱炭素型ライフスタイルの
選択肢—カーボンフットプ
リントと削減効果の可視化
[https://www.cger.nies.go.jp/
publications/report/d031/jpn
/page/lifestyle/index.html](https://www.cger.nies.go.jp/publications/report/d031/jpn/page/lifestyle/index.html)

第2回 12月10日(金) 15:30-18:00 『レッツLCAs！脱炭素かどうか、未来を 確からしく判断するために』

場所:

オンサイト: 京都里山SDGsラボ「ことす」

オンライン: リンクを共有

<レクチャー>

「ライフサイクルアセスメントことはじめ」

-矢野順也先生による レクチャー&質疑応答 60min

<事例紹介(京大との共同研究より)> 45min

日本モウルド工業株式会社 石原雄大氏

ガラスびん3R促進協議会 田中希幸氏

京都大学大学院地球環境学舎 向由佳さん

<実践&ディスカッション>

「LCA実践トレーニング」

参加者各者が評価したい内容について、LCA研究の基本的な内容をデザインし、発表していただきます。

矢野順也

京都大学環境安全保健機構
附属環境科学センター 助教



厨芥類などの廃棄物系バイオマスやバイオプラスチック、使用済自動車などを対象に、資源循環のフロー解析やライフサイクル分析を用いたシステム研究をしている。



石原雄大

日本モウルド工業(株)
代表取締役専務



田中希幸

ガラスびん3R促進
協議会
理事・事務局長

第3回 1月14日(金) 15:30-18:00 『世界や政権、金融はどう動く？脱炭素の 可能性と課題について』

場所：
オンサイト：京都大学
オンライン：リンクを共有

<レクチャー>

「脱炭素社会の実現への近道：

炭素集約型技術のフェーズアウト」

-トレンチャー・グレゴリー先生による レクチャー&質疑
応答 60min

<ディスカッション>

-テーマについて、参加者全員がグループに分かれ、ゲー
ム形式にて、自分ごと化を目指す予定です。

トレンチャー・グレゴリー
TRENCHER Gregory
京都大学大学院地球環境学堂
(環境教育論分野) 准教授



★事務局お薦めの参考情報：
エコ〜るど京大プレゼンツ
「勝手に集中講義2021」に
て、楽しいお話をしてくだ
さっています。
<https://www.youtube.com/watch?v=QUC86J3I3kk&t=11969s>

▼京都超SDGsコンソー シアム参加企業・団体



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



京都市
CITY OF KYOTO

RICOH
imagine. change.

YASUDA
SANGYO
GROUP

ひとの
ときを、
思う。 JT

SoftBank

ecommit

セブン&アイ HLDGS.



三洋化成
Sanyo Chemical



エフピコ

Daiwa Lease

Takara Leben

mizkan
やがて、いのちに変わるもの。

第4回 2月4日(金) 15:30-18:00 『脱炭素でも、誰一人取り残さないために。 福祉や様々な社会課題と向き合う』

場所: オンライン(リンクを共有)

*今回は、コロナ感染者数状況を鑑みて、関係者以外はオンラインのみの開催とさせていただきます。

<レクチャー>

「新たな生産性を高める非効率的な活動
～地域福祉の事例から～」

-西川ハンナ先生によるレクチャー&質疑応答 60min

<事例紹介>

「エフピコにおける障がいのある人材の雇用
～一人ひとりが輝いて、続ける力は未来へと」

-株式会社 エフピコ 西村 公子氏によるレクチャー&
質疑応答 45min

<ディスカッション>

福祉やダイバーシティに関する、コンソ各社の取り組み
紹介や質疑、お悩み相談

西川ハンナ

創価大学 文学部社会福祉専修
准教授



★事務局お薦めの参考情報:
地域格差、世代間格差、環境格差など社会的弱者とされる人々の「弱さの強さ」。フィールドワークでのご経験のお話は、とても刺激的です。脱炭素社会に向けた行動変容のヒントに!

<https://tgu.mext.go.jp/news/2021/11/005194.html>

西村公子

(株) エフピコ 常務取締役
総務人事本部管掌(兼)特例子会社・就労
継続支援A型事業管掌(兼)環境対策室管掌
(兼)法務・コンプライアンス統括室管掌



★事務局お薦めの参考情報:
1986年から実践されておられる知的障がいのある社員の皆様が基幹業務でご活躍されている内容についてご紹介頂きます。

https://www.fpco.jp/esg/socie_tyeffort/handicap.html

第5回 3月4日(金) 15:30-18:00 『ラップアップ脱炭素』

場所:

オンサイト:調整中

オンライン:リンクを共有

<レクチャー>

「裏山からクルマを作る」

-矢野浩之先生による レクチャー&質疑応答 75min

<事例紹介>

「当社の脱炭素の取り組みとエネルギー事業紹介」

-株式会社 タカラレーベン 鈴木健介氏 15min

「京北スマートシティ構想 『ルカ計画』

水素とロボットで人が集まる町づくり」

-甲南中学校 米倉大司氏 15min

<プレゼンテーション>

参加者一人ひとりからの発表&講評

※課題や形式については、今後決定する予定。

矢野 浩之

京大大学生存圏研究所 教授
(京都大学バイオナノマテリアル
共同研究拠点)



<https://www.youtube.com/watch?v=XM0uEmtek1E>

★事務局お薦めの参考情報:
日本が世界に誇る新材料、
CNF開発の第一人者である
矢野先生から、脱炭素社会に
おける植物材料のポテンシャル
についてお話しただけま
す!木製の車、必見です!



鈴木健介

株式会社タカラレーベン
社長室室長 兼
経営企画部長



米倉大司

甲南中学校
フロントランナー3年

【参考】昨年度の実施概要

● 講師 & テーマ一覧

京都大学大学院	地球環境学堂	准教授	浅利美鈴	導入及びナビゲーション
人間文化研究機構	総合地球環境学研究所	特任教授	西條 辰義	仮想将来世代の導入 「フューチャー・デザイン」
京都大学	こころの未来研究センター	特定講師	畑中千紘	「臨床心理学からみた日本のこころの今」
京都大学	環境安全保健機構 附属環境科学センター	助教授	矢野順也	「持続可能な資源・エネルギーについて」
京都大学	学際融合教育研究推進センター	准教授	宮野公樹	「次世代の変革、どう起こすか」と問うことの意味
京都大学大学院	地球環境学堂	准教授	真常 仁志	「アフリカで都市と農村の関係を考える」
京都大学	生存圏研究所 生存圏開発創成研究系循環材料創成分野	教授	梅村研二	「持続可能な木質材料をつくるには？」
水田耕作社代表	京都大学 名誉教授 農学部農芸化学科 植物栄養学研究室	名誉教授	間藤 徹	「地球家賃を払おう」
京都大学	環境安全保険機構 健康管理部門/ 附属健康科学センター	教授	石見拓	～SDGsを実現するために～ まずは自分と周りの『健康』について 考え、実践してみよう！

● 参加: 20の企業・団体

● 主催: 京都大学 ● 事務局: 里山デザイン ほか

「京大SDGs研究会」2021年度のプログラムを支えるメンバー

●三洋化成工業(株)(事務局)



山崎有香
総務本部CSR推進部長
SDGsの理念や方向性は当社のCSR活動と共通するものという考えのもと、事業に絡めたCSR活動とSDGsの紐づけや、社内教育などを通じ従業員にSDGsの理解・浸透を図っている。グループ一体となり持続可能な社会の実現に貢献できるよう、更なる啓発活動を行っていく。



鈴木一充
SDPグローバル(株)出向
研究部長
普段は紙おむつに使用される高吸水性樹脂の開発に従事。超高齢化社会を迎えて増え続ける紙おむつの廃棄物問題に目を向け、材料開発の目線から脱炭素を目指すべく日々検討中。

●京都大学(他にも多数)

浅利美鈴
京都大学大学院 地球環境学堂 准教授
「ごみ」や「環境教育」が研究テーマ。また、「びっくり！エコ100選」や「びっくりエコ発電所」「3R・低炭素社会検定」「エコ〜ると京大」「京都超SDGsコンソーシアム」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。



藤田 稔
(株)リコー環境事業開発センター地域プロジェクト推進グループリーダー



齋藤 久也
京都市総合企画局総合政策室 SDGs・レジリエンス戦略課長



【参考】京都超SDGsコンソーシアム

- ・2019年6月に産学公連携プロジェクトとして開始
- ・コンセプト

1,300年の歴史を持つ京都。
SDGs目標年である
2030年を超えて、
また、17の目標を超えて、
持続可能な社会の在り方を
追及したい。
その想いを込めて、
超SDGsと謳っています。

SDGs MONDOU 問答

養老 孟司 永田 和宏 山極 壽一

考え

行動し

発信



ことす KOTOS

2021年8月31日
テレワークエリア
OPEN!

京都里山 サテライトオフィス
SDGs ラボ 入居企業・団体募集!

KYOTO SATOYAMA SDGs LAB

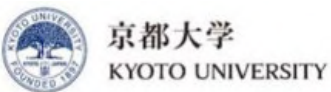
今日も明日もSDGs!

30分でSDGsがまる分かり!
YouTubeにてアーカイブ配信中!



SDGs KYOTO TIMES | 🔍

エコ〜ると京大



お問合せ先

●京都大学拠点

京都超SDGsコンソーシアム事務局
京都大学大学院地球環境学堂
浅利美鈴、光本年男、濱野敏寛

〒606-8501

京都府京都市左京区吉田本町

Email: ecocheck@eprc.Kyoto-u.ac.jp

●事務局

三洋化成工業株式会社
山崎有香、鈴木一充

〒605-0995

京都府京都市東山区一橋野本町11-1

Email: y.yamazaki@sanyo-chemical.group

k.suzuki@sanyo-chemical.group